

越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会
会長 高野 淑 恵
〒343-0021 越谷市大林235-9
TEL・FAX 048-977-1908

発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
理事長 村山 勇 治
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂
2-15-3 母子福祉会館内
TEL 048-833-0444
FAX 048-833-0400

発行日 平成28年3月31日
購読料 20円は会費に含む



『それぞれの、春よ来いー』

越谷市手をつなぐ育成会 会長
NPO法人越谷市手をつなぐ育成会・友 理事長
高野 淑 恵

平成二十七年度も終了し、心も新たに新年度を迎えます。

平素よりご支援ご協力戴いております。皆様より厚く御礼申し上げます。

春は別れの季節でもあります。今年には長年百草園に慣れ親しんできた子どもたちが幾人か新しい世界へ旅立っていきます。「どこに行っても幸せになってね」と祈っています。百草園での楽しい思い出を忘れないうくださいね。時に優しく時に厳しくもあった支援員さんのことを忘れないうくださいね。楽しい思い出を糧に新しい世界にチャレンジしてください。私たちも支援員さんたちも心からそう願っています。Challengerという言葉には「障がいのある人」と言う意味もあるそうです。元気でチャレンジしていきましょう。

私たちにとっても、二十八年度はどのような一年になるのでしょうか。この会報が皆様のお手元に届く頃には、「障害者差別解消法」が施行されています。先に施行された「虐待防止法」と共に「障害者権利条約」批准のために整備された法律ですが、法

律ができたからといって、それだけで人の心や長い間の習慣や先入観が

一気に変わる訳ではありません。それでも、法の精神がいつか人の心の中に浸透していくように、当事者団体である私たちが倦まず弛まず気長に働きかけ呼びかけていきたいと思っています。そんなに特別なものを要求している訳ではないのです。障がいのあるなしに関わらず、生きていく上での普通にささやかな権利ですね。

とは言え、人が人の心の中に届く呼び声を送ることは、とても難しいものです。育ってきた環境、生きてきた歴史は、みんなそれぞれ違っていきますから、呼べど叫べど届かない思いは、振り返れば自分の足あとよりたくさんあります。振り返るたびにその足跡のひとつひとつが「つらいね」「切ないね」と語りかけてきます。だから、あまり何度も振り返るのはいやめようと思います。「諦め」という負の世界は暗くて静かな部屋のよう居心地がよさそうに見えて、ともすればそこに身を委ねて楽になりたいという誘惑に負けそうになる

こともありますが、すんでのころで思いとどまります。「トリトリ」「ダメッ!」「こっちに来なさい!」と私の首根っこをつかんでくれる友人たちの声に引き戻されます。

スヌーピーもこう言っています。
YOU PLAY WITH THE CARDS YOU DEALT...
『配られたトランプで勝負するきゃないのや...』

【本当は深いスヌーピー名言集】
(出典 snopy.yahoo.co.jp)
そう、誰でもみんな『配られたカードで勝負するきゃない』のです。その中に『障がい児の母』なんていうカードが入っていても、「ゲッ、ババ引いた!」なんて思わないでください。《ババ! ショーカー》は、最強のカードになることもあります。思いもよらなかつた世界にワープするみたいですが、怖れないでください。その世界にも喜びや希望があり暖かい陽が降り注ぎ、あなたやあなたの子どもさんを支え、どんな道も一緒に歩く友だちがいます。
春は、出逢いの季節でもありますよ。

千草園だより

今回は、新たな年を迎えてからの活動をご報告いたします。

一月は、「成人を祝う会ならびに新年会」にて今年は『野の花』の稲見直磨さん、『千草園』の近藤優希さんが成人を迎えました。お祝い申し上げます。

若い力漲る、勇ましい姿をこれからも応援してゆきたいですね…。

それぞれの力を合わせたり、支え合ったりすると様々な繋がりや経験を重ねられる事です。新たな力となると感じる時があります。「越谷市障害者就労訓練事業」では『野の花』『千草園』の生産品（授産品）の販売までの機会を頂いて「くすのき荘」や「ゆりのき荘」、「ひのき荘」にて実施しています。（詳細は越谷市HP参照。）

また、三月十日と十一日には

「がんばろう 東北」「東北復興支援バザー」には「わらじの会」様とご一緒に参加させて頂きました。お互いに工夫しながら販売を通じて社会参加でそれぞれに緊張や感謝と心動く機会となりました。

三月十七日から十八日には宿泊旅行が実施されました。旅行前では保護者の方々に「健康記録表」の記入をご協力して頂きました。体調管理にはご家庭と日中活動で細やかな気づきが必要で、一方で支援する側も留意しなければなりません。そして旅行中の元気な笑顔を見て、その努力が報われる気がします。今回は、利用者の皆様全員が参加して汗ばむ程のお天気の下、千葉県の成田山新勝寺をお参りして穏やかな館山の海を眺めながら「ホテル南海荘」に泊まり、二日目は「マザー牧場」を散策することが出来ました。ご協力ありがとうございました。



それぞれの楽しみを創り合う機会も大切に

『千草園』で開所から全体行事が繰り返されてきた間にそれぞれの希望や準備から好みの食事・移動手段・場所を実現する難しさから生まれた「個別外出」。実現する為には「施設の外出」と本来の「外出」を見直して創意工夫する必要があるとします。他の行事でも計画し実施する為には施設として支援員として係る費用を考え、実現可能なプランを作成し、同時に参加されるそれぞれの利用者の方々日々のやりとりを交わして乗り越えて、楽しみをみつけていくことを目指しています。

新年度では、これまでの事を整理しながらよりよい活動を組み立てられるように準備してゆきたいと思っております。その為には皆様にアンケートや聞き取りなど、ご協力頂いてより充実した時間を組み込み、それぞれに豊かな人生を目指すように少しずつ日々を重ねられたら…と考えております。これからの環境の変化に慣れるまで戸惑う時間もあるかもしれません。新しいチャレンジをクリアする途中で心が折れそうになる時期もあるかもしれません…。上手く伝えられない時でも利用者の方々が乗り越えてゆけるように様々な日々の中を少しずつでも共に前に進んで行きたいですね…。

〔古口〕

野の花だより

花便りが伝わってくる今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか。今回は1月から3月の様子をお知らせします。



1月8日（金）にギャザホールにて、成人を祝う会が行われました。野の花では、稲見直磨さんが成人を迎えられました。いつもとは違うスーツ姿に、ご本人も緊張の様子……。会食が始まると少し緊張も緩んだ様子で、お祝いの歌の頃にはノリノリで熱唱して下さいました。



2月はグループに分かれてイオン北戸田店に買物実習に行つて来ました。事前にアンケートを取り、買いたい物を決めて頂き、当日はパンフレットを見ながら自分の欲しい商品がどこにあるかなど、職員と相談しながらお店を回つて来ました。欲しい商品を見つけた時の嬉しそうな笑顔は今でも忘れられません。



2月13日（土）は開所日でした。今回は好きな所でお昼ご飯を買いに出かけて来ました。いつもはチラシで見えてお弁当を決めるのですが今回は出来た

てのお弁当が目の前にズラリと並び、どれにしようか皆さん真剣に悩まれていました。午後は翌日がバレンタインという事だったのでみんなでチョコクッキーを作りティータイムに頂きました。ほのぼのと過ごせた一日となりました。



3月3日、4日は熱海・伊豆の春を先取りした宿泊旅行に行つて来ました。1日目は湘南水族館を見学しました。色取り取りのクラゲやこわく顔のウツボ、イルカのショー等、色々な魚を見学しました。ホテルは熱海湾を一望でき、とても景色の良い所でした。夕食の後は楽しいカラオケタイム。いつものようにノリノリで歌われる方

や、初めてマイクを握つて歌われた方など、改めて皆さんが旅行を楽しまれていたんだなと、感じさせられました。2日目は伊豆の河津桜を見学しました。一足早い桜に心が和みました。昼食の後は富士山が一望出来る場所でのいちご狩り。春の味覚を口いっぱい詰込んでいました。



3月31日（木）は今年度を労う為にお疲れ様会を行いました。とんでんでは豪華な食事に舌鼓。午後はカラオケとボーリングに別れ、日頃のストレスを発散し、新年度に向けて鋭気を養いました。



【張ヶ谷】

ホームページ、再開しました！



メンテナンス中だったホームページですが、会員の方々に多大なるご協力をいただき、2月20日より再開いたしました。野の花、千草園、そして育成会の情報が満載です！ぜひ、お持ちのスマートフォン、パソコンでご覧になってください。



◇◇ 会計報告 ◇◇

《 売上純利益 》

- ・わかめ 2,553 円
- ・ひじき 1,904 円
- ・ごま 1,800 円
- ・お茶 6,156 円

ご協力

ありがとうございました。



◇◇ 今後の予定 ◇◇

- 4月17日(日) イオンバザー
- 4月28日(木) 総会 中央市民会館2・3会議室
- 6月5日(日) ふれあいの日



◇◆◇ 編集後記 ◇◆◇

「淡き光立つにわか雨 いとし面影の沈丁花〜♪」トップページのタイトルを見たたん、私の頭の中でこの曲が流れ始めました。春の会報の編集後記を担当するようになって三年目。今年の桜はまだ日当たりの良い場所でしか花が咲いていません。でも、あともう少し。必ず春はやってきます。 (高浜尚美)